

26 - OCT 2004 (26 - 10 - 2004)

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

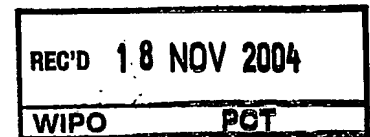
CNO4/01041

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2003年11月18日

出願番号
Application Number: 実願2003-272552
[ST. 10/C]: [JP2003-272552 U]



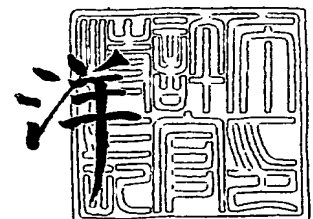
出願人
Applicant(s): イー ジャン インダストリアル カンパニー リミテッド

**PRIORITY
DOCUMENT**
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 9月 1日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川



出証番号 出証実2004-3000136

【書類名】 実用新案登録願
【整理番号】 T1N-00233U
【提出日】 平成15年11月18日
【あて先】 特許庁長官 今井 康夫 殿
【国際特許分類】 A47B 47/00
【考案者】
 【住所又は居所】 台湾, チャン・ホア・シエン, ペイ・トウ・シアン, ルン・チャ
 オ・ヴィレッジ, シン・ゴン・ロード, 4 番
 【氏名】 チェン, シン-ユエ
【実用新案登録出願人】
 【識別番号】 503409953
 【氏名又は名称】 イー ジャン インダストリアル カンパニー リミテッド
【代理人】
 【識別番号】 100070150
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 伊東 忠彦
 【電話番号】 03-5424-2511
【選任した代理人】
 【識別番号】 100091214
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 大貫 進介
 【電話番号】 03-5424-2511
【選任した代理人】
 【識別番号】 100107766
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 伊東 忠重
 【電話番号】 03-5424-2511
【納付年分】 第 1年分から第 3年分
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 002989
 【納付金額】 38,900円
【提出物件の目録】
 【物件名】 実用新案登録請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【書類名】 実用新案登録請求の範囲

【請求項 1】

支架ロッドから形成される主架体を有し、
 上記主架体の相対する 2 つの側のそれぞれに固定板を相対連結させ、上記固定板の両側端が上記支架ロッド上にネジ結合され、上端が水平方向に伸びる層板を支える支板を有し、
 上記支板の下端に折面板を有し、
 上記折面板は、折面板上部と連接板と折面板底部とを有し、
 上記折面板上部と上記折面板底部は、上記支板に対して平行に設置され、
 上記連接板は、上記支板に対して直角に設置され、
 上記折面板上部は、上記支板の下端面中段に上記支板と平行に固定設置され、上記折面板上部の後端と上記連接板の上端が直角に結合され、
 上記連接板の下端と、上記折面板底部の前端とが直角に結合され、
 階段状の上記折面板が、上記支板下端に設置されることにより、上記支板の末端下方に嵌合溝を形成し、
 上記折面板の上記折面板底部末端が、上記支板末端より水平方向に突出する構造により、上記嵌合溝に相対する上記層板の両側端を嵌入保持させることを特徴とする万能ラック。

【書類名】明細書

【考案の名称】万能ラック

【技術分野】

【0001】

本考案は万能ラックに係るものであり、特に、一種の層板の両側端を嵌入保持させる構造の万能ラックに係るものである。

【背景技術】

【0002】

従来の多層式ラックの構造は、層板を使用してラックを多層に分隔することにより、物品を類別し、各層に異なる物品を置くことができる。このように、多層空間を有効利用できる。従来の層板の構造においては、大部分が主架体に設置される支板上に直接形成されているが、このような層板を支板上に形成される従来の構造は、安定性に欠け、不便であり、消費者からの支持を受けているとは言えない。従って、従来の多層式ラックにおいて、このような問題点を改良した構造の一種の万能ラックを開発するかが、関係業界では目標となっている。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

従来の多層式ラックは以下の問題点があった。

(1) 層板を支板上にネジ固定した状態、或は固定せずに載せた状態で多層ラックを使用するが、完全に固定設置されておらず、外力により層板は曲がったり移動したりし易く、安定性に欠ける。

(2) 従来の層板の固定方法は新しい形態の固定方法が開発されておらず、組み付けが不便であり、消費者からの支持を受けているとは言えない。

【0004】

従って、本考案は、多層式ラックの多層式層板の固定方法における安定性を向上させ、消費者から多大な支持を受けることができる万能ラックを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

前記の目的を図るために、請求項1に記載されるように、本考案は、支架ロッドから形成される主架体を有し、上記主架体の相対する2つの側のそれぞれに固定板を相対連結させ、上記固定板の両側端が上記支架ロッド上にネジ結合され、上端が水平方向に伸びる層板を支える支板を有し、上記支板の下端に折面板を有し、上記折面板は、折面板上部と連接板と折面板底部とを有し、上記折面板上部と上記折面板底部は、上記支板に対して平行に設置され、上記連接板は、上記支板に対して直角に設置され、上記折面板上部は、上記支板の下端面中段に上記支板と平行に固定設置され、上記折面板上部の後端と上記連接板の上端が直角に結合され、上記連接板の下端と、上記折面板底部の前端とが直角に結合され、階段状の上記折面板が、上記支板下端に設置されることにより、上記支板の末端下方に嵌合溝を形成し、上記折面板の上記折面板底部末端が、上記支板末端より水平方向に突出する構造により、上記嵌合溝に相対する上記層板の両側端を嵌入保持させることにより、多層式ラックの多層式層板の固定方法における安定性を向上させ、消費者から多大な支持を受けることができる。

【考案の効果】

【0006】

本考案の万能ラックにおいて、多層式ラックの多層式層板の固定方法における安定性を向上させ、消費者から多大な支持を受けることができる。

【0007】

また、本考案の万能ラックにおいて、折面板により層板を嵌入保持させる方式により新しい万能ラックの構造形態を提供することができる。

【0008】

また、本考案の万能ラックにおいて、折面板の設置により嵌合溝を形成し、嵌合溝に相対する層板の両側端を嵌入保持させることにより、層板は曲がったり移動したりすることがなく安定し、且つ、外観もよくなる。

【0009】

また、本考案の万能ラックにおいて、嵌合溝の底部が上部より水平方向に突出する形状により、層板を嵌入設置させる時、層板の一侧端を嵌合溝の相対する側に嵌入させた後、層板のもう一侧端をもう一方の相対する嵌合溝に嵌入させるだけでよく、設置方法が簡単になる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0010】

以下に添付図面を参照して本考案のある好適な実施の形態を詳細に説明するが、それらの構成は本考案の構造の絶対的な制限にならない。図1は、本考案の一実施例に係る万能ラックを示す斜視図である。図2は、本考案の万能ラックの折面板の周辺を示す拡大図である。図3は、本考案の万能ラックに層板を装着した状態を示す斜視図である。図4は、本考案の万能ラックを示す側視図である。

【0011】

図1に示すように、本考案の万能ラックの構造は、主に、4組の支架ロッド11から形成される主架体を有し、主架体の相対する2つの側のそれぞれに固定板21を相対連結させている。固定板21の両側端は、支架ロッド11上にネジ結合されている。また、固定板21の上端は、水平方向に伸びる層板40を支える為の支板22を有する。

【0012】

図2に示すように、支板22下端に折面板30を有し、折面板30は折面板上部32と連接板34と折面板底部33とで構成される。折面板上部32と折面板底部33は、支板22に対して、平行に設置され、連接板34は支板22に対して、直角に設置される。また、折面板上部32は支板22の下端面中段に支板22と平行に固定設置され、折面板上部32の後端と連接板34の上端が直角に結合される。

【0013】

連接板34の下端と折面板底部33の前端が直角に結合され、階段状の折面板30が支板22下端に設置されることにより、支板22末端下方に嵌合溝31を形成する。折面板30の折面板底部33末端が、支板22末端より水平方向に突出することにより、嵌合溝31に相対する層板40の両側端を嵌入保持させることができる(図3、4に示す)。

【0014】

折面板30の設置により、嵌合溝31を形成し、嵌合溝31に相対する層板40の両側端を嵌入保持させることにより、層板40は曲がったり移動したりすることがなく安定し、且つ、外観もよくなる。

【0015】

図5は、本考案の層板を万能ラックに装着する動作を示す側視図である。図5に示すように、嵌合溝31の底部が上部より突出する形状により、層板40を嵌入設置させる時、層板40の一侧端を嵌合溝31の相対する側に嵌入させた後、層板40のもう一侧端を、もう一方の相対する嵌合溝31に嵌入させるだけでよく、設置方法が簡単になる。

【0016】

図6は、本考案の万能ラックに装着される多種類の層板を示す斜視図である。図6に示すように、嵌合溝31に層板40を嵌入設置させる構造により、素早く、且つ、簡単に装着できる。また、異なる種類の層板40を使用することにより(例:ガラス、網、孔板)異なる視覚効果を発揮することができる。

【0017】

従って、本考案の万能ラックにおいて、多層式ラックの多層式層板の固定方法における安定性を向上させ、消費者から多大な支持を受けることができる。

【0018】

また、本考案の万能ラックにおいて、折面板により層板を嵌入保持させる方式により新

しい万能ラックの構造形態を提供することができる。

【0019】

また、本考案の万能ラックにおいて、折面板の設置により嵌合溝を形成し、嵌合溝に相対する層板の両側端を嵌入保持させることにより、層板は曲がったり移動したりすることがなく安定し、且つ、外観もよくなる。

【0020】

また、本考案の万能ラックにおいて、嵌合溝の底部が上部より水平方向に突出する形状により、層板を嵌入設置させる時、層板の一側端を嵌合溝の相対する側に嵌入させた後、層板のもう一側端をもう一方の相対する嵌合溝に嵌入させるだけでよく、設置方法が簡単になる。

【0021】

尚、本考案の万能ラックは上記の構成や形状に限定されることなく、本考案の万能ラックを変形及び改良した構成においても適応可能である。

【図面の簡単な説明】

【0022】

【図1】 本考案の一実施例に係る万能ラックを示す斜視図である。

【図2】 本考案の万能ラックの折面板の周辺を示す拡大図である。

【図3】 本考案の万能ラックに層板を装着した状態を示す斜視図である。

【図4】 本考案の万能ラックを示す側視図である。

【図5】 本考案の層板を万能ラックに装着する動作を示す側視図である。

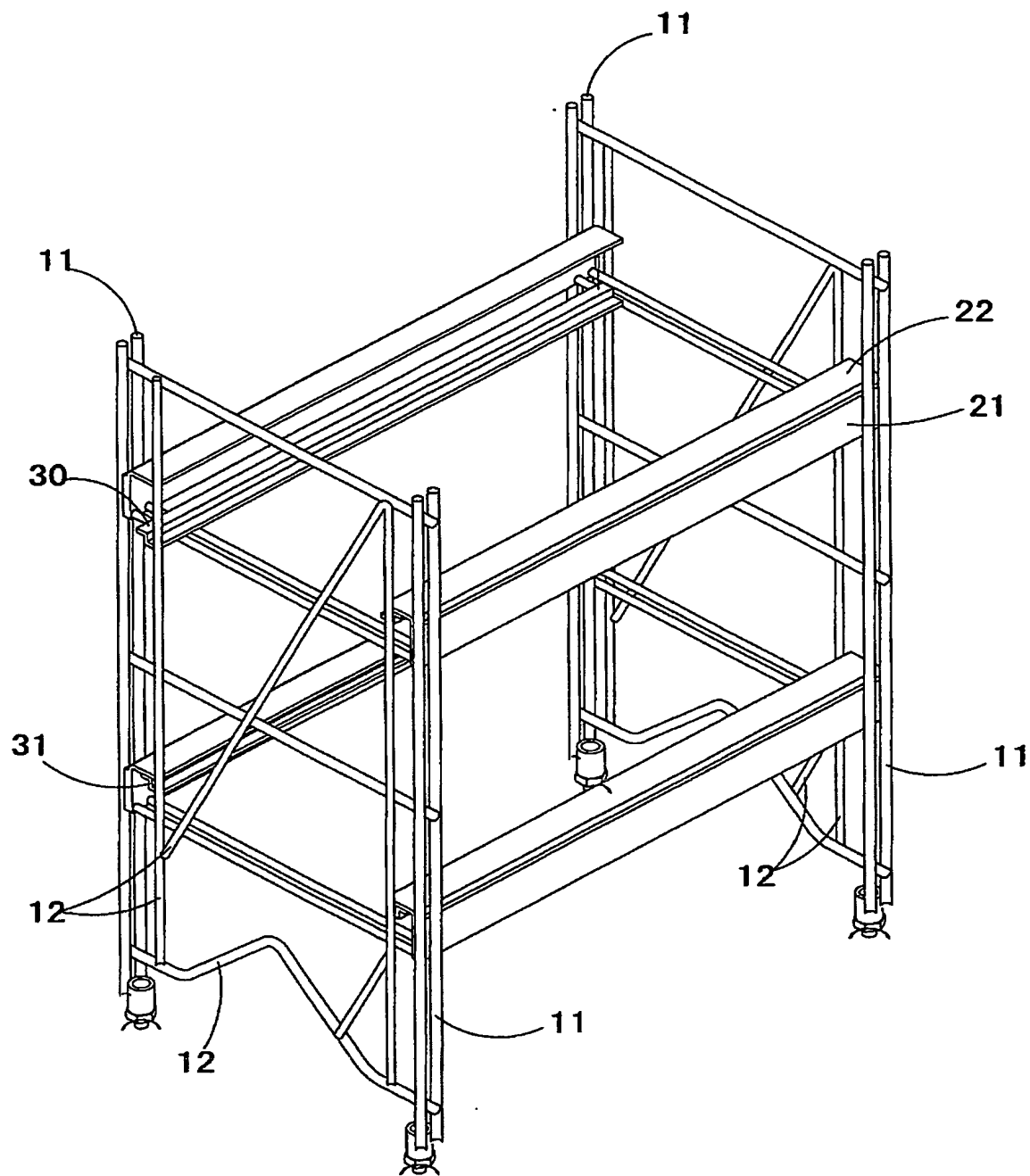
【図6】 本考案の万能ラックに装着される多種類の層板を示す斜視図である。

【符号の説明】

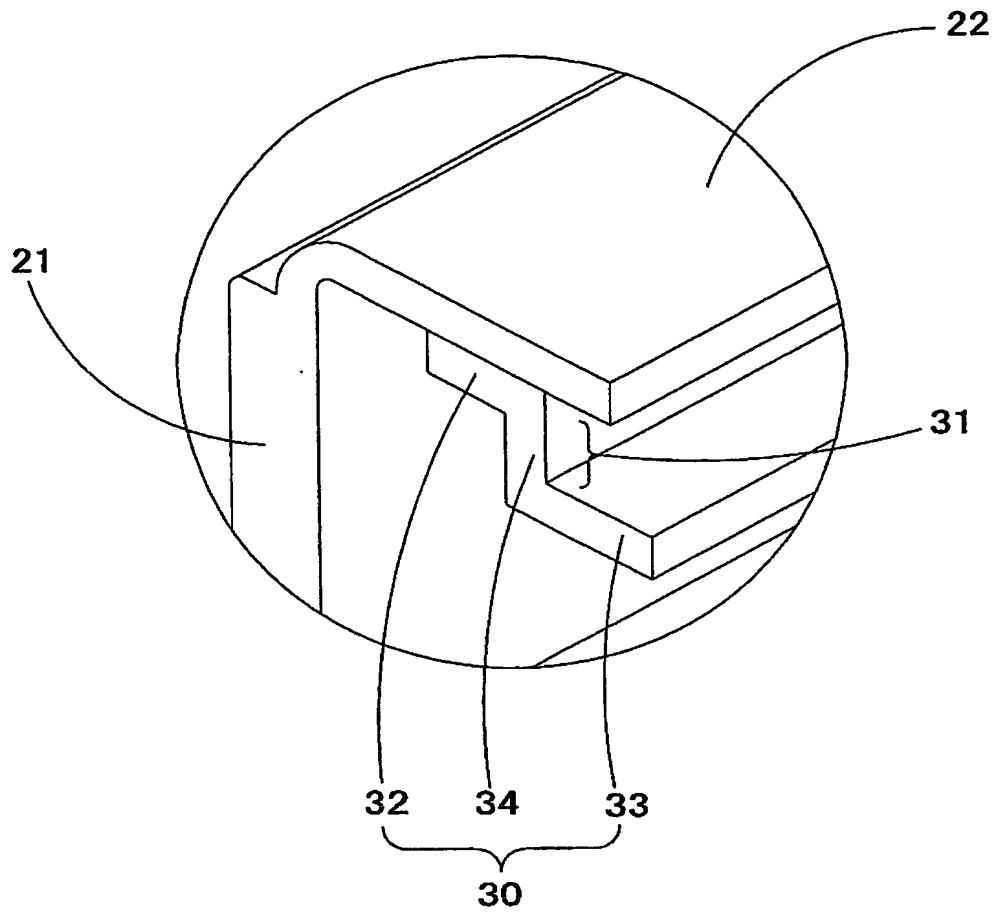
【0023】

11	支架ロッド
21	固定板
22	支板
30	折面板
31	嵌合溝
32	折面板上部
33	折面板底部
34	連接板
40	層板

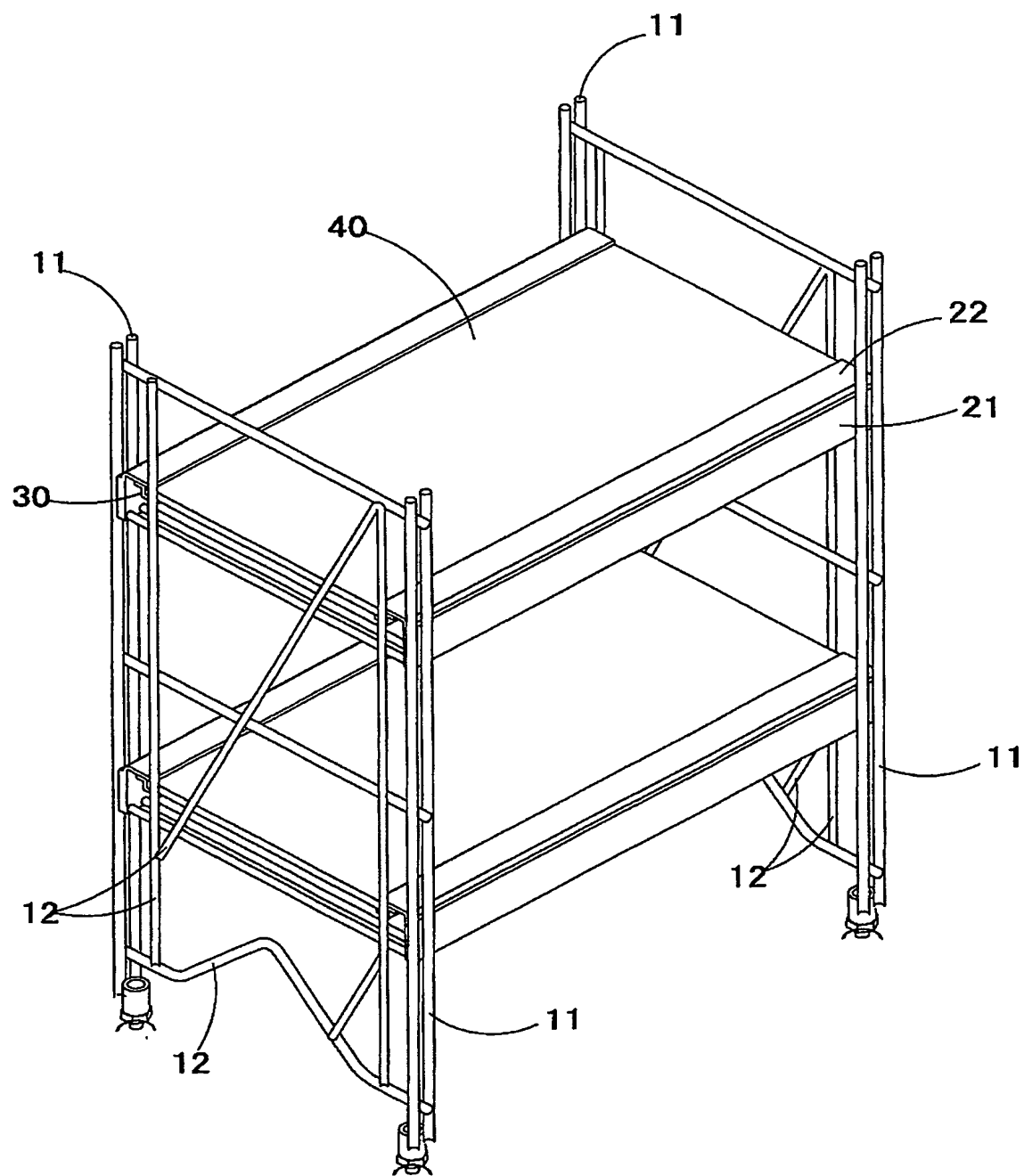
【書類名】図面
【図1】



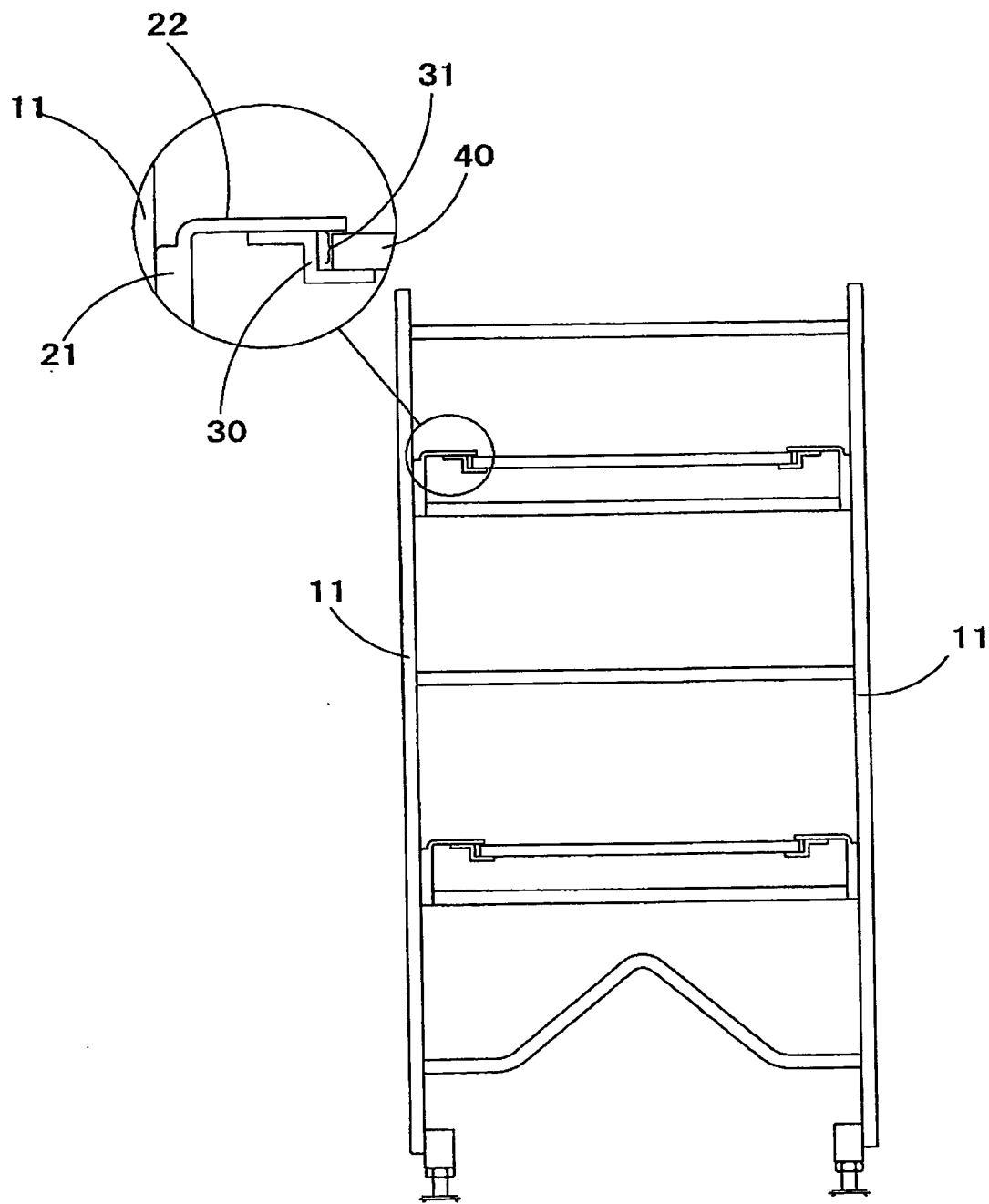
【図 2】



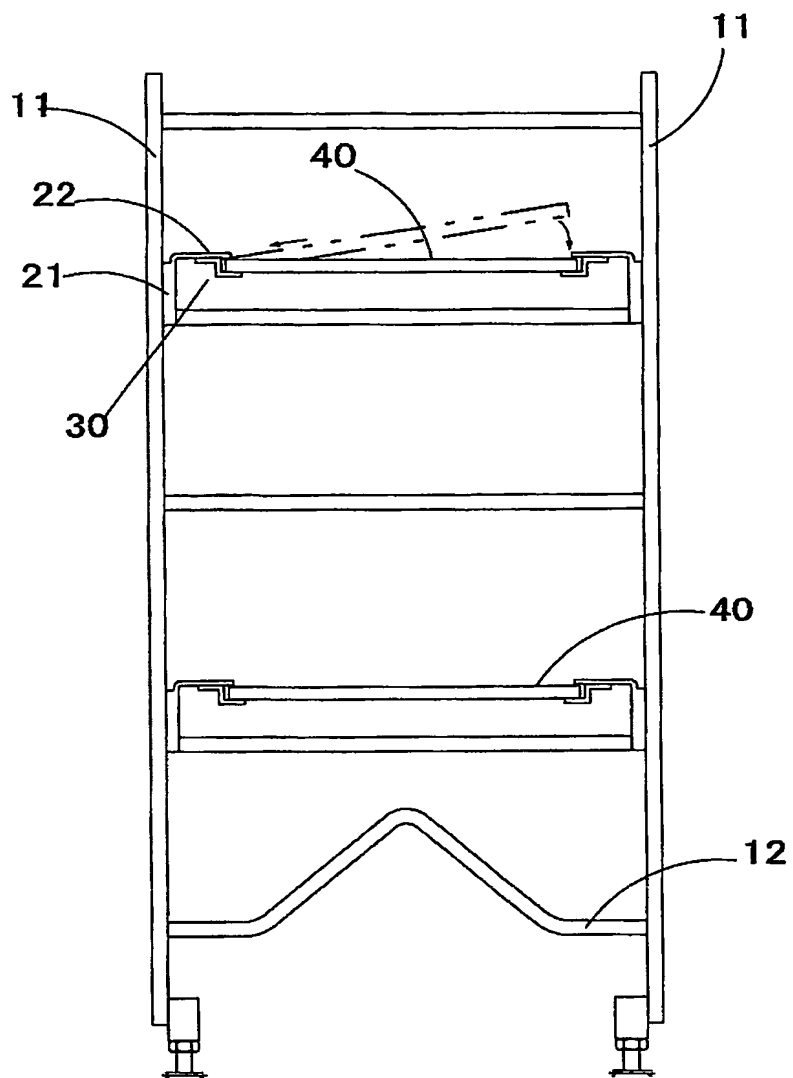
【図 3】



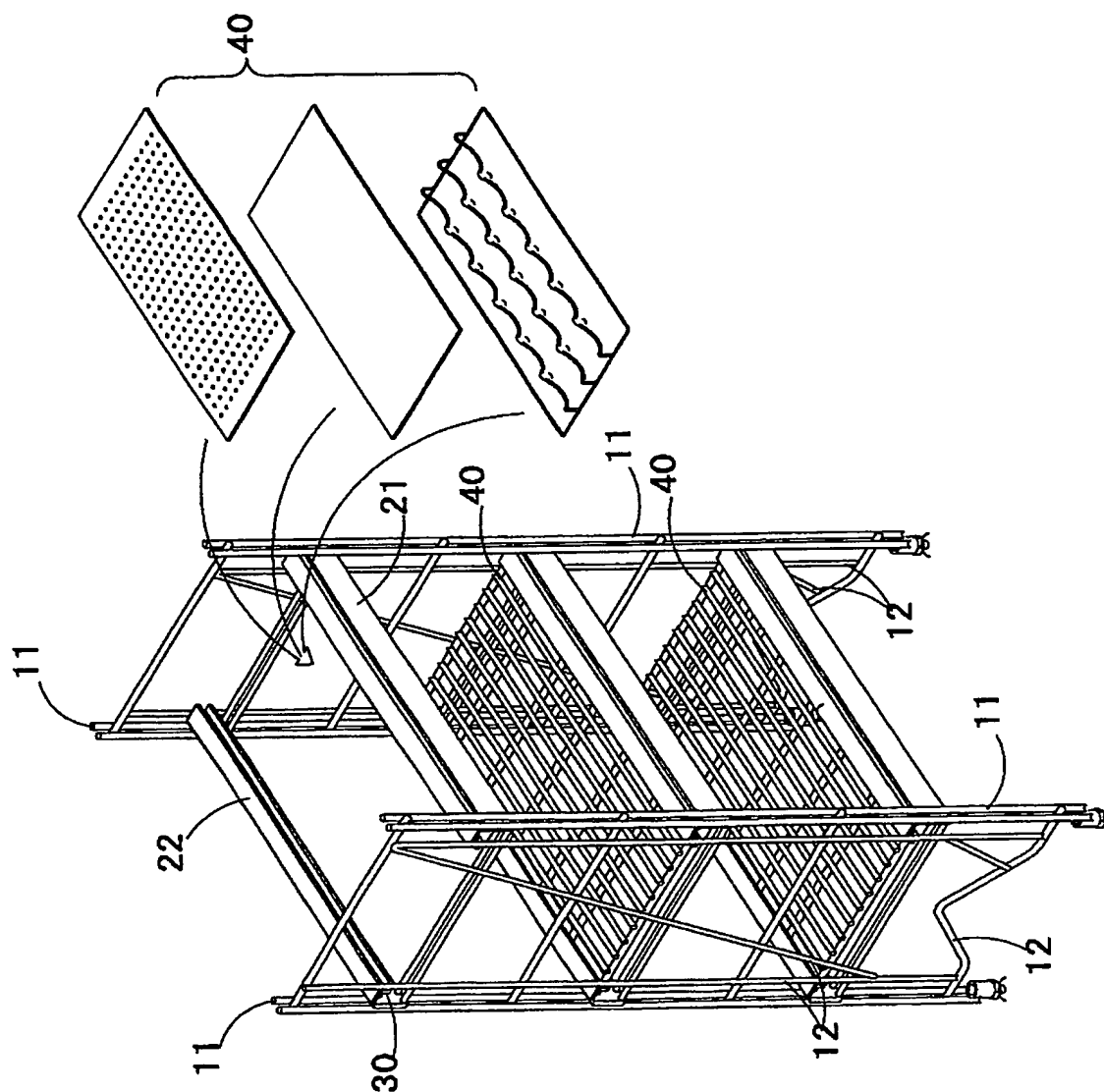
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 多層式ラックの多層式層板の固定方法における安定性を向上させ、消費者から多大な支持を受けることができる万能ラックを提供することを目的とする。

【解決手段】 本考案は万能ラックの構造を提供するもので、支架ロッドから形成される主架体を有し、主架体の相対する 2 つの側のそれぞれに固定板を相対連結させ、固定板の両側端が支架ロッド上にネジ結合され、上端が水平方向に伸びる層板を支える支板を有し、支板の下端に折面板を有し、折面板は折面板上部と連接板と折面板底部とを有し、折面板上部と上記折面板底部は、支板に対して平行に設置され、連接板は支板に対して直角に設置され、折面板上部は支板の下端面中段に支板と平行に固定設置され、折面板上部の後端と連接板の上端が直角に結合され、連接板の下端と、面板底部の前端とが直角に結合され、階段状の折面板が支板下端に設置される構成とされる。

【選択図】 図 1

実願 2 0 0 3 - 2 7 2 5 5 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[5 0 3 4 0 9 9 5 3]

1. 変更年月日

2 0 0 3 年 1 1 月 7 日

[変更理由]

新規登録

住 所

台湾, チャン・ホア・シエン, ペイ・トウ・シアン, ルン・チャオ・ヴィレッジ, シン・ゴン・ロード, 4 番

氏 名

イー ジャン インダストリアル カンパニー リミテッド